

平成30年度第3回学校運営協議会の実施報告書

学校名			
岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校	校長	土井 充行	
所在地	岐阜市芥見南山 3-11-1	電話	058-243-0710

- 協議会の名称 岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校運営協議会
- 協議会の構成委員

清水 達郎	芥見南自治会連合会	会長	
伊藤 知子	株式会社十八楼	女将	※欠席
大倉 美江	すまいる工房株式会社	代表取締役	
林 武	岐阜県老人福祉施設協議会	副会長	※欠席
五十川 勝也	芥見東身体障害者福祉協会	会長	
佐々木 ひなゑ	芥見東自治会連合会	会計	
土屋 明之	中部学院大学短期大学部	特任教授	
高橋 貴美子	岐阜清流高等特別支援学校	PTA 会長	

学 校	土井 充行	校長
	高井 繁喜	教頭
	下野 修	事務長
	廣瀬 雅行	部主事
	横田 真	教務主任
	三橋 正康	生徒指導部長
	北川 百合	進路指導部長
	齋藤 律	保健安全部長
	今枝 みどり	研修・支援センター部長
	谷藤 麻以子	地域交流部長
- 協議会の目的 学校運営に関する目標やビジョンを地域住民や保護者、有識者と共有し、幅広く意見を求めるとともに互いに連携・協働し、教育活動の活性化及び地域に開かれた学校づくりを推進しながら、地域や社会に貢献できる担い手となる人材を育成する。
- 協議会の開催 平成31年2月28日(木) 10:00~12:00
岐阜清流高等特別支援学校 会議室
- 協議会の概要(協議事項)
 - 校長挨拶

(2) 議題

①平成30年度自己評価について

○分掌ごとに学校評価を受け、その改善後の自己評価、取組状況について説明した。

□教務部

意見1：アビリンピック等での受賞が、生徒の自信や資格取得につながり、就職に有利に働けばいいのではないか。

回答→ 生徒の自信や資格取得等に結び付くよう、教育内容を充実する。

□進路指導部

意見2：2年生の実習先が、3年生での就職につながるとよい。そう言っていただけの企業もあるのではないか。

回答→ 雇用したいと言っていただけの企業もある。開拓企業も200社を超えているが、生徒の居住地に適応した開拓企業が十分でないことが課題である。

□生徒指導部

意見3：カウンセラーは生徒指導部の担当か。

回答→ 生徒指導部の担当で、教員の中に教育相談担当を配置している。また、スペシャリスト事業も活用している。

□保健安全部

意見4：避難所開設マニュアル作成等、よい取組を行っている。歯科指導は高校生においても大事である。

回答→ 避難所開設マニュアルは作成だけでなく、実践を試みる。歯科指導は、適切な生活習慣作りとして大切であるので、学校としての取組を進める。

□地域交流部

意見5：地域住民も、この学校の行事となると一生懸命になる。避難所開設のことを含めて、地域としても協力していきたい。

意見6：コミュニティ・スクールの取組が全県下の手本となるように進めてほしい。

回答→ 今後とも地域資源の活用に努めながら、地域との連携を深めていきたい。

□研修・支援センター部

意見7：軽度知的障がいと発達障がいを対象とした高等特別支援学校独自のセンターとしての役割が重要になってくる。

回答→ 高等学校でのニーズの掘り起こしを行い、高等特別支援学校のセンター的機能の役割を確立する。

②学校経営課題と基本方針について

○「2019年度学校経営計画」については、本日いただいた意見を参考に、来年度第1回の運営協議会において「教育課程」や「組織編制」と併せて議題とする。

意見8：現場実習等をとおして大人と関わることは、人間力を高めることにつ

ながるいい機会である。機会があれば、実習を受け入れていきたいが、働く人になるためには8時間労働ができる体力をつけることも大切である。

回答→ 働く意義の理解も含めて、学校の指導のもと現場実習を通じ、総合的に人間力を高める指導を行っていく。

感想1：次年度、3学年がそろふことで、上下関係ができる。人間関係は生活の規範のところであるので、上下関係を学び、良好な人間関係を身に付けた社会人となってほしい。

感想2：母親として、子どもの障がいに関わり添うことと社会の状況やニーズに合わせることは相反することになることもあるが、学校が受け皿になってもらいたいと思っている。卒業後は、この学校が保護者同士の関係の要となるので、よろしくお願ひしたい。

感想3：学校の1日が充実していないと生徒は楽しくない。人間力を高め、働く意義を理解するために、子どもの立場から考えてもらいたい。

6 会議のまとめ

- ・平成30年度自己評価について、本日いただいた意見を参考に、来年度の実践に反映することとする。
- ・学校経営課題と基本方針（案）については、本日いただいた意見を参考に、来年度第1回の運営協議会において「教育課程」や「組織編制」と併せて議題とする。

○平成30年度自己評価について

- ・各分掌において、学校評価を受けて後期に改善を行った。
- ・全体を通して、分掌間での連携がとれている。

○学校経営課題と基本方針（案）について

- ・資格取得の充実等、次年度も期待がもてる。
- ・現場実習等とおして、大人と接する機会が多くなることで、人間力を高めることに有効である。
- ・働く人になるためには、8時間労働に耐えうる体力が必要であるのでそのような取組も必要。
- ・学校の一日が充実していないと生徒は楽しくない。人間力を高めたり働く意義が理解できるようになるためにも子どもの立場から考えてもらいたい。